

令和3年度
スポーツ施策の進捗状況
(重点施策)

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

高知県スポーツ振興の強化ポイント

P41

事業実施計画

P56

施策の方向性	(1) 新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり ● 地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充
---------------	----------------------------------	----------------	--

事業概要	<p>地域スポーツハブ展開事業</p> <p>総合型地域スポーツクラブ等が地域のスポーツ活動の拠点「地域スポーツハブ」を担い、地域のニーズに応じて行う公益的なスポーツ活動を支援する。</p>
-------------	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内各地において、地域のスポーツ活動拠点が機能しスポーツ環境が整っている ● 各地域スポーツハブ内におけるスポーツ活動数が増加している ● 地域スポーツコーディネーター等育成塾の受講者数が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツハブ設置数：11団体 ● 立ち上げから3年後のスポーツ活動数が立ち上げ年度比で20%増加している ● 広域を対象とした取組や市町村と連携した取組が増加している ● 助成終了後も各地域のスポーツに関するニーズや課題が検討される場が確保されている ● 地域スポーツコーディネーター等育成塾の受講者数が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツハブ設置数：11団体 ● 各地域スポーツハブのアクションプラン（指標）に示す目標値に到達 ● 地域スポーツハブ展開事業全体の指標について目標値に到達 ● ハブ同士や市町村との連携により、広域的な視点を持った取り組みを各ハブが展開 ● 継続的な活動に向け、自主財源確保の取り組み及び市町村支援の方向性の決定

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツハブ設置数：9団体 (R4.2月末時点) ● 地域スポーツハブ内におけるスポーツ活動数 (R4.2月末時点) <ul style="list-style-type: none"> ・南国市11、土佐市11、土佐清水市18、室戸市6、香南市9 ・四万十町7、安芸市5、宿毛市4、須崎市3 ● 広域を対象とした取組数：5件 (R4.2月末時点) ● 地域スポーツハブ連携事業数：4件 (R4.2月末時点) ● 地域スポーツコーディネーター等育成塾等の実施回数：5回 (R4.2月末時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域的な視点を持った事業展開及び各ハブの連携強化 ● 地域ニーズに応じたアクションプランのさらなる充実 ● リモートスポーツパッケージの有効活用に向けた取り組みの強化 ● 地域スポーツハブ立ち上げに向けたスポーツ関係団体等との連携 ● 自主財源確保に向けたモデル化の検討 ● 運営費に関する市町村等からの支援の調整及び方向性の検討

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
<p>(1) 地域スポーツハブの機能の充実及び継続に向けた支援</p> <p>① 地域スポーツ促進委員会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的な事業やスポーツツーリズム、健康づくりの推進につなげるための提案及び助言 (広域からの情報収集、促進委員の人選、広報の強化等) ・リモートスポーツパッケージの有効活用に向けた提案及び助言 ・促進委員会の体制強化に向けた検討 <p>② 地域スポーツコーディネーターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツコーディネーター等育成塾の開催 (計6回) ・リモートスポーツパッケージ情報交換会の開催 (計6回) <p>③ 地域スポーツハブ機能の共有化に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動4年目及び令和5年度以降を見据えた活動事例のモデル化 (活動項目毎の事例紹介等) ・リモートスポーツパッケージの活動事例のモデル化 ・地域スポーツハブの指標に基づき、各ハブが活動状況を自己評価する仕組みの構築 (促進委員会での評価等) <p>④ 新規立ち上げの地域スポーツハブへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促進委員会での事業概要及び促進委員会の進め方の説明 ・地域スポーツコーディネーター等育成塾の有効活用 ・立ち上げに向けたスポーツ関係団体等との協議 <p>⑤ 助成終了後も地域スポーツハブが継続的に活動される仕組みの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主財源確保に向けた検討 (クラブ事例の共有) ・運営費に関する市町村等からの支援に向けた調整及び支援の方向性の検討 ・市町村担当者会、個別の市町村訪問による説明 	<p>(1) 地域スポーツハブの機能の充実及び継続に向けた支援</p> <p>① 地域スポーツ促進委員会への参加 <u>計22回 (総計25回)</u></p> <p>② 地域スポーツコーディネーターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートスポーツパッケージ情報交換会 計2回 (4/7・12/22) ・地域スポーツコーディネーター情報交換会 計3回 (7/30・10/15・2/18) ・地域スポーツコーディネーター等育成塾 計2回 (5/28 (延期)・12/22・2/15～3/1 (各地域毎に開催)) <p>③ 地域スポーツハブ機能の共有化に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年目を迎える3ハブ (土佐市・南国市・土佐清水市) の活動事例紹介資料の作成 ・各地域スポーツハブの取組状況や活動事例を他の地域スポーツハブや34市町村等関係者へ情報提供 ・県内5ブロックで市町村等関係者との意見交換を実施 (事例共有) <p>④ 新規立ち上げの地域スポーツハブへの支援</p> <p>【須崎市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市地域スポーツハブ促進委員への事業概要の説明 (5月) ・すさきスポーツクラブとの事業活動実施に向けた協議 計10回 ・8月より事業活動実施 (活動数3件、促進委員会5回) <p>【佐川町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町さくらスポーツクラブとの立ち上げに向けた協議 計2回 ・佐川町さくらスポーツクラブ理事長への事業説明 <p>【四万十市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市スポーツ協会との協議 ・四万十市生涯学習課との協議 <p>⑤ 助成終了後も地域スポーツハブが継続的に活動される仕組みの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核となる全ての団体 (11団体) との協議 計1回 ・既存設置9ハブとの協議 計4回 (7月・9月・1月・2月) ・拠点となる市町村との協議 計10回 (佐川町以外) ・県内34市町村に対し、地域スポーツのあり方についての調査 (7月) ・上記調査内容をもとに、全市町村へのヒアリングの実施 (8月下旬～9月中旬) → 調査内容を整理し、各市町村毎に個票のたたき台を作成 ・県内34市町村を5ブロックに分け、各ブロック単位で地域のスポーツを取り巻く環境について意見交換を実施 (2月中旬～3月上旬)

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）

(2) 地域スポーツハブ未設置地域における取組の支援

- ①地域ごと、市町村ごとのスポーツ活動に関する課題への対応
- ・市町村担当者会を活用した地域スポーツハブの取り組み状況の周知
- ・個別の市町村訪問を通じた課題等の情報収集
- ・地域スポーツハブ設置地域（拠点市町村）におけるモデルケースの検討
- ・促進委員会の体制充実に向けた、市町村への情報提供

〔地域スポーツハブの取組実績〕

NO.	事業開始年度	地域スポーツハブ拠点がある市町村（核となる団体）	これまでの取組実績（R3.12末時点 上段：活動数、下段：参加延べ人数）						促進委員会開催数	広域の取組	自立した取組	
			子どもの活動	大人の活動	子どもから高齢者まで	障害者スポーツ	部活動の受け皿	リモート活動				スポーツツーリズム
1	H30	南国市 （まほろばクラブ南国）	4	5	16	0	5	0	3	25	5	1
			129	914	1,772	0	52	0	136			
2	H30	土佐市 （総合クラブとさ）	14	16	7	2	4	2	4	7	3	1
			1,751	792	452	39	68	448	142			
3	H30	土佐清水市 （スポーツクラブスクラム）	14	13	18	0	6	3	2	16	0	2
			708	410	2,296	0	273	53	366			
4	R元	室戸市 （むろとスポーツクラブ）	2	3	9	0	3	0	1	16	0	0
			155	114	785	0	217	0	24			
5	R元	香南市 （こうなんスポーツクラブ）	2	14	5	2	0	1	10	10	1	0
			270	2,173	266	56	0	29	2,106			
6	R2	四万十町 （くぼかわスポーツクラブ）	1	3	4	0	0	0	1	6	1	0
			15	37	165	0	0	0	85			
7	R2	安芸市 （来楽部あっきいーな）	3	3	0	2	2	0	1	4	0	0
			182	155	0	90	207	0	48			
8	R2	宿毛市 （宿毛市体育協会）	4	2	2	0	0	0	1	8	0	0
			234	31	335	0	0	0	300			
9	R3	須崎市 （すさきスポーツクラブ）	1	2	0	0	0	0	0	4	1	0
			31	48	0	0	0	0	0			

D 取り組み状況

(2) 地域スポーツハブ未設置地域における取組の支援

- ・ハブ促進委員会で広域を意識した事業活動の実施を依頼（20回）
- ・市町村向けの事業概要資料を作成し共有（9月）
- （5/28 市町村担当者会において事業概要等説明予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催延期）
- ・県内34市町村向けに、各市町村のスポーツを取り巻く環境についての調査及びヒアリングの実施（8月下旬～9月中旬）
→調査内容を整理し、各市町村毎に個票を作成
- ・県内34市町村を5ブロックに分け、各ブロック単位で地域のスポーツを取り巻く環境について意見交換を実施（2月中旬～3月上旬）
→ハブ未設置地域との連携に向けたコーディネーターとの情報交換

A 見えてきた課題に対する改善策

- コーディネーター等育成塾や情報交換会等を通じた効果的な取組の促進
- 各市町村のスポーツ状況等の調査及び集約
- 総合型スポーツクラブ等への支援や市町村行政との連携体制の構築に向けた検討

C 見えてきた課題

- 事業活動の収益化や広域展開を意識した取り組みの更なる推進
- 各市町村のスポーツを取り巻く状況について、より精緻な情報の収集が必要
- 助成終了後もハブの活動が継続される体制の整備に向けた更なる検討
- 障害者スポーツやスポーツツーリズムに関する取組が少ない。
- 新たに立ち上げた取り組みの定着率が低く、継続した取組につなげていく必要がある

見直しの方向性

- 多様なニーズを捉えた取り組みの拡充
 - ニーズや課題に応じた効果的な取組のさらなる充実
 - 地域スポーツコーディネーター情報交換会及び研修会の充実
- 継続した活動につなげる体制づくり
 - 総合型スポーツクラブ等への支援
 - 市町村行政との連携体制の構築
 - 広域で連携したりモートによる取組の促進
- 民間団体や企業等が核となる新たなスポーツ推進体制との連携
 - 関係者をつなぎスポーツを通して地域の活性化を目指すスポーツコミッション（民間団体や企業等で設立）
 - 総合型地域スポーツクラブの自立的な運営の促進に向けた支援を行う中間支援組織（中間支援組織：高知県スポーツ協会）

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(1) 新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり ・特別支援学校等と連携した障害者スポーツの推進
---------------	----------------------------------	----------------	---

事業概要	障害者スポーツ推進プロジェクト（スポーツ庁委託事業等） 特別支援学校やスポーツ団体等と連携し、障害者スポーツ情報の効果的な収集・発信・共有体制を構築するとともに、特別支援学校を中心に多様な関係者が連携して、在校生や卒業生、地域住民など誰もが参加できるスポーツ機会を提供する。		
-------------	---	--	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●障害者が地域の身近な場所でスポーツに参加しやすい仕組みを構築した団体等が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ●仕組みを構築した6団体等ができている ●仕組みを構築した団体・地域において、障害者が参加できるスポーツ教室が2つ以上できている 	仕組みが構築した5団体等ができている

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●現在の取組5団体等 ●障害のある方が、身近な地域で気軽にスポーツ活動を行うための環境が整っていない地域がある ●参加者が限定的である 	<ul style="list-style-type: none"> ●取組の拡充に向けた連携や地域の支援者等の協力が必要 ●各取組の参加者の増加

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況															
<p>(1) 総合型地域スポーツクラブ・関係団体等と連携した取組の実施</p> <p>①障害者スポーツ推進プロジェクト（※スポーツ庁委託事業）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>取組内容</th> <th>協力・支援団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会福祉法人高知県社会福祉協議会</td> <td>陸上記録会やフライングディスク記録会を通して、障害者のスポーツ参加を促すとともに、地域において当該記録会以外の取組にも波及できるよう、障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員など障害者スポーツに携わる人材の育成や確保、さらには関係者のネットワークの構築を図る取組を行う。</td> <td> ・中村特別支援学校 ・山田特別支援学校田野分校 ・県立障害者スポーツセンター ・地域の福祉施設 ・幡多陸上競技協会 </td> </tr> <tr> <td>NPO法人まほろばクラブ南国</td> <td>総合型地域スポーツクラブの拠点施設等を活用し、学校の運動部活動や交流スポーツ大会、児童生徒や家族が参加できる多目的のスポーツ体験イベントなどを実施することにより、健常者と障害者が一緒に参加できる環境づくりを行う。（運動部活動への専門指導者の派遣、障害の有無に関係のないバドミントン大会等）</td> <td> ・山田特別支援学校 ・各種競技団体（バレーボール等） ・関係市町村社会福祉協議会 </td> </tr> <tr> <td>NPO法人総合クラブとさ</td> <td>特別支援学校等と連携し、複数のスポーツ体験教室を通じて障害者のスポーツ参加機会の拡充を図るとともに、現職教職員の障害者スポーツの指導・支援のノウハウを普及する。また、広く地域住民に障害者スポーツの理解の推進を図る。（リモートによる障害者のスポーツ参画機会の創出、障害者スポーツ種目の体験・理解促進等）</td> <td> ・日高特別支援学校 ・高知若草特別支援学校 ・地域の福祉施設 ・関係市町村社会福祉協議会 </td> </tr> <tr> <td>NPO法人くぼかわスポーツクラブ</td> <td>地域において障害者のスポーツ活動が継続・充実するモデルづくりとして、障害者のスポーツ活動における支援者の育成・確保のための講習会を行うとともに、障害者や支援者がスポーツ活動を体験する場やその成果を発表する場を提供する。（障害者スポーツ種目の指導講習会、リモートによる障害者福祉施設でのスポーツ教室等）</td> <td> ・地域の福祉施設 ・町ボランティア協議会 ・関係市町村社会福祉協議会 ・教育委員会 </td> </tr> </tbody> </table>	団体名	取組内容	協力・支援団体	社会福祉法人高知県社会福祉協議会	陸上記録会やフライングディスク記録会を通して、障害者のスポーツ参加を促すとともに、地域において当該記録会以外の取組にも波及できるよう、障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員など障害者スポーツに携わる人材の育成や確保、さらには関係者のネットワークの構築を図る取組を行う。	・中村特別支援学校 ・山田特別支援学校田野分校 ・県立障害者スポーツセンター ・地域の福祉施設 ・幡多陸上競技協会	NPO法人まほろばクラブ南国	総合型地域スポーツクラブの拠点施設等を活用し、学校の運動部活動や交流スポーツ大会、児童生徒や家族が参加できる多目的のスポーツ体験イベントなどを実施することにより、健常者と障害者が一緒に参加できる環境づくりを行う。（運動部活動への専門指導者の派遣、障害の有無に関係のないバドミントン大会等）	・山田特別支援学校 ・各種競技団体（バレーボール等） ・関係市町村社会福祉協議会	NPO法人総合クラブとさ	特別支援学校等と連携し、複数のスポーツ体験教室を通じて障害者のスポーツ参加機会の拡充を図るとともに、現職教職員の障害者スポーツの指導・支援のノウハウを普及する。また、広く地域住民に障害者スポーツの理解の推進を図る。（リモートによる障害者のスポーツ参画機会の創出、障害者スポーツ種目の体験・理解促進等）	・日高特別支援学校 ・高知若草特別支援学校 ・地域の福祉施設 ・関係市町村社会福祉協議会	NPO法人くぼかわスポーツクラブ	地域において障害者のスポーツ活動が継続・充実するモデルづくりとして、障害者のスポーツ活動における支援者の育成・確保のための講習会を行うとともに、障害者や支援者がスポーツ活動を体験する場やその成果を発表する場を提供する。（障害者スポーツ種目の指導講習会、リモートによる障害者福祉施設でのスポーツ教室等）	・地域の福祉施設 ・町ボランティア協議会 ・関係市町村社会福祉協議会 ・教育委員会	<p>(1) 総合型地域スポーツクラブ・関係団体等と連携した取組の実施</p> <p>①障害者スポーツ推進プロジェクト（※スポーツ庁委託事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ庁へ事業計画書を提出（6/3） ・スポーツ庁との契約締結（6/28） ・再委託先との契約締結（4団体契約完了） ・特別支援学校との活動協議（2団体） ・実行委員会開催（8/20、10/20） <p>(2) 特別支援学校等を通じたスポーツ情報の収集・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツナビを利用した情報発信1件（10/20） <p>(3) 特別支援学校等と連携したスポーツ機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ①取組の拡充に向けた関係団体との協議（検討会の開催） 検討会（3件） ②幡多陸上競技記録会の実施（11/6） ※中村特別支援学校参加
団体名	取組内容	協力・支援団体														
社会福祉法人高知県社会福祉協議会	陸上記録会やフライングディスク記録会を通して、障害者のスポーツ参加を促すとともに、地域において当該記録会以外の取組にも波及できるよう、障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員など障害者スポーツに携わる人材の育成や確保、さらには関係者のネットワークの構築を図る取組を行う。	・中村特別支援学校 ・山田特別支援学校田野分校 ・県立障害者スポーツセンター ・地域の福祉施設 ・幡多陸上競技協会														
NPO法人まほろばクラブ南国	総合型地域スポーツクラブの拠点施設等を活用し、学校の運動部活動や交流スポーツ大会、児童生徒や家族が参加できる多目的のスポーツ体験イベントなどを実施することにより、健常者と障害者が一緒に参加できる環境づくりを行う。（運動部活動への専門指導者の派遣、障害の有無に関係のないバドミントン大会等）	・山田特別支援学校 ・各種競技団体（バレーボール等） ・関係市町村社会福祉協議会														
NPO法人総合クラブとさ	特別支援学校等と連携し、複数のスポーツ体験教室を通じて障害者のスポーツ参加機会の拡充を図るとともに、現職教職員の障害者スポーツの指導・支援のノウハウを普及する。また、広く地域住民に障害者スポーツの理解の推進を図る。（リモートによる障害者のスポーツ参画機会の創出、障害者スポーツ種目の体験・理解促進等）	・日高特別支援学校 ・高知若草特別支援学校 ・地域の福祉施設 ・関係市町村社会福祉協議会														
NPO法人くぼかわスポーツクラブ	地域において障害者のスポーツ活動が継続・充実するモデルづくりとして、障害者のスポーツ活動における支援者の育成・確保のための講習会を行うとともに、障害者や支援者がスポーツ活動を体験する場やその成果を発表する場を提供する。（障害者スポーツ種目の指導講習会、リモートによる障害者福祉施設でのスポーツ教室等）	・地域の福祉施設 ・町ボランティア協議会 ・関係市町村社会福祉協議会 ・教育委員会														
A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題															
<ul style="list-style-type: none"> ●次年度以降の実施形態について関係者と協議 	<ul style="list-style-type: none"> ●国の事業終了後の各取組の継続及び普及 															

見直しの方向性	<p>■本事業の成果の継続・拡充</p> <p>○本事業の各取組を地域スポーツハブや市町村等において継続・拡充を図る</p>
----------------	--

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

高知県スポーツ振興の強化ポイント

P42

事業実施計画

P60

施策の方向性	(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツを「知る」「始める」機会の拡充 ● 情報発信の強化
事業概要	「知る」機会の拡充 インターネット等を活用した情報発信の強化により、スポーツを「知る」機会の拡充を図りスポーツ参加の拡大につなげる。		

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 「知る」機会の拡充により県民のスポーツへの関心が高まり「みる」「する」「ささえる」スポーツの参加人口が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1週間の総合運動時間が60分未満の児童生徒の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均値 ● 成人の週1回以上運動・スポーツの実施率 <ul style="list-style-type: none"> ・65%以上 ● 高知県障害者スポーツ大会の参加者数：1,700人以上 	- ※R3年度に実施する「県民の健康・スポーツに関する意識調査」により把握

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 1週間の総合運動時間が60分未満の児童生徒の割合（ ）は全国値 <ul style="list-style-type: none"> ・小5男：8.9%（8.8%） ・小5女：14.1%（14.4%） ・中2男：8.0%（7.8%） ・中2女：19.6%（18.1%） ● 成人の週1回以上運動・スポーツの実施率 <ul style="list-style-type: none"> ・51%R3年度実施「県民の健康・スポーツに関する意識調査 ● 高知県障害者スポーツ大会の参加者数：633人（R3） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 20代のスポーツに関する満足度は高いが、一方で40代と同じく1割程度が関心が低い ● スポーツの効果や効用等知りスポーツへの関心を喚起する情報発信が必要 ● 「こうちスポーツNAVI」の知名度向上、サイトの充実

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) 県民スポーツ月間によるスポーツ機運の醸成 ①テレビ・ラジオ・県広報誌等での周知（9月～）</p> <p>(2) インターネット等を活用した情報発信の強化 ①こうちスポーツNAVIによる情報発信の強化 ・関係団体へ情報発信の協力依頼（6月～） ・こうちスポーツNAVIの充実、周知 ・高知新聞との協力による登録団体募集（7月） ②こうちスポーツNAVIの改修（7月～12月末） ・大会、イベント申込機能等の追加 ③SNSを活用した情報発信 ・大会、イベント等での積極的な活用</p> <p>(3) スポーツ推進委員によるスポーツ体験会(ニュースポーツ等)の開催 ①市町村とスポーツ推進委員の連携への支援 ・市町村担当者へ県内市町村スポーツ推進委員及び他県の活動事例紹介（5月） ・ニュースポーツ貸出し用品の紹介（5月） ②スポーツ推進委員によるスポーツイベント企画立案に向けての研修 ・初任者研修会（7月） ・県研修会（10月） ・四国地区研修会（1月） <u>中止→冊子研修に変更</u></p>	<p>(1) 県民スポーツ月間によるスポーツ機運の醸成 ・県広報誌「さんSUNこうち9月号」に下記の内容を掲載して周知「高知県スポーツ推進計画Ver.4」の改正内容 スポーツイベント「JAMフェスタ」の開催について</p> <p>(2) インターネット等を活用した情報発信の強化 ①こうちスポーツNAVIによる情報発信の強化 ・関係団体へ情報発信等の協力依頼（6月～） ・新規サークル申込（4件） <サイトの活用団体> 10団体/145団体内 <サイトのページビュー数> <u>7,567（R3.4月～R4.1月の月平均）</u> ②こうちスポーツNAVIの改修 ・関係団体等との機能の追加に向けた協議（6月～） ・大会、イベント申込機能等の追加 ③SNSを活用した情報発信 ・聖火リレー特設ページ開設、関連情報の発信（4月～）</p> <p>(3) スポーツ推進委員によるスポーツ体験会(ニュースポーツ等)の開催 ・市町村担当者への事例紹介（5/28） ・ニュースポーツ貸出し用品の紹介（5/28） ⇒ 市町村担当者会延期のため初任者研修会で実施 ・幡多地区スポーツ推進委員合同研修会（7/4） ・令和2年度活動状況調査（～7月末） ・四国地区研修会第1回理事会（7/15） ・初任者研修会（8/1） ・四国地区スポーツ推進委員研修会冊子の作成・参加者への配布</p>

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ● こうちスポーツNAVIについて関係機関・団体へ周知 ● こうちスポーツNAVIの情報発信機能の強化 ● 四国地区研修会の案内・周知の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● こうちスポーツNAVI及びスポーツ課SNSの利用がまだ少ない ● こうちスポーツNAVIを活用している団体が少ない ● スポーツ推進委員四国地区研修会の参加者が固定化されている

見直し方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタル化等による情報発信の強化
--------	--

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツを「知る」「始める」機会の拡充 ● 気軽にスポーツに親しむ機会の充実
---------------	--------------------------	----------------	---

事業概要	<p>「始める」機会の拡充</p> <p>障害の有無に関わらず誰もが親しみやすいスポーツ体験イベントの開催や県内企業の従業員を対象とした運動会の開催などにより、スポーツを「始める」機運の醸成を図る。また、地域スポーツハブやスポーツ推進委員等によるスポーツ機会の提供により、スポーツを「始める」機会を拡充し、スポーツ参加の拡大につなげる。</p>
-------------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての年代においてスポーツの参加人口がH28年度より増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1週間の総合運動時間が60分未満の児童生徒の割合・全国平均値 ● 成人の週1回以上運動・スポーツの実施率・65%以上 ● 高知県障害者スポーツ大会の参加者数：1,700人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1週間の総合運動時間が60分未満の児童生徒の割合：前年度より減少している。 ■ 成人の週1回以上運動・スポーツの実施率 ※R3年度に実施する「県民の健康・スポーツに関する意識調査」により把握

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 1週間の総合運動時間が60分未満の児童生徒の割合 () は全国値 ・小5男：8.9% (8.8%) ・小5女：14.1% (14.4%) ・中2男：8.0% (7.8%) ・中2女：19.6% (18.1%) ● 成人の週1回以上運動・スポーツの実施率 ・51%R3年度実施「県民の健康・スポーツに関する意識調査 ● 高知県障害者スポーツ大会の参加者数：633人 (R3) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性は同世代の男性に比べてスポーツ実施率がやや低い ● 気軽にスポーツを楽しめる機会の充実が必要

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
<p>(1) 体験型イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツJAMフェスタの開催 (10/3) ・イベント内容の決定に向けた関係団体との調整 (～7月中旬) ・学生ボランティア等の手配、会場設営等の委託(7月中旬) ・チラシによる開催周知、募集開始 (8月下旬) <p>(2) 企業合同交流運動会の開催 (11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催案内 (10月) <p>(3) スポーツ推進委員によるスポーツ体験会(ニュースポーツ等)の開催</p> <p>①市町村とスポーツ推進委員の連携への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者へ県内市町村スポーツ推進委員及び他県の活動事例紹介 (5月) ・ニュースポーツ貸出し用品の紹介 (5月) <p>②スポーツ推進委員によるスポーツイベント企画立案に向けての研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修会 (7月) ・県研修会 (10月) ・四国地区研修会 (1月) 中止→冊子研修に変更 	<p>(1) 体験型イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツJAMフェスタの開催 (10/3予定) ・イベント内容の決定に向けた関係団体との調整 (6月～) ・スポーツJAMフェスタの具体的な内容に関する関係者との協議 ・イベントの中止を決定 (9月) <p>(2) 企業合同交流運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止 <p>(3) スポーツ推進委員によるスポーツ体験会(ニュースポーツ等)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村担当者への事例紹介 (5/28) ・ニュースポーツ貸出し用品の紹介 (5/28) ⇒ 市町村担当者会延期のため初任者研修会で実施 ・幡多地区スポーツ推進委員合同研修会 (7/4) ・令和2年度活動状況調査 (～7月末) ・四国地区研修会第1回理事会 (7/15) ・初任者研修会 (8/1) ・四国地区スポーツ推進委員研修会冊子の作成・参加者への配布

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツJAMフェスタが中止になったことに伴うパラスポーツ体験やeスポーツ体験ができる機会の提供を検討・実施 ● 四国地区研修会の案内・周知の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツJAMフェスタに代わるスポーツ機会の提供が必要 ● スポーツ推進委員四国地区研修会の参加者が固定化されている

見直し方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障害の有無に関わらず誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の拡充
---------------	--

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における子どものスポーツ環境づくり ・スポーツの裾野拡大に向けた取組の充実 ・子どものスポーツ環境の充実に向けた取組への支援
事業概要	地域における子どものスポーツ環境づくり 誰もが参加しやすいスポーツ体験会等の開催や、障害者スポーツセンターや地域のスポーツ拠点が子どものスポーツの空白を埋める取組、並びに地域のスポーツ指導者の育成を図る取組の支援する。		

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内の児童・生徒が障害の有無に関係なく、いきいきと自分の適性に合ったスポーツに取り組む事ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツクラブ等による地域部活動の受け皿となる取組：5件 ● 障害者が気軽にスポーツに参加できる仕組みを構築した団体等数：6団体 ● マッチングプログラムの参加者：890名 ● 障害者が参加できるイベントや大会が増えている。 ● スタートコーチ資格取得者：100名 ● 地域部活モデル事業等数：2 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツクラブ等による地域部活動の受け皿となる取組：4件 ● 障害者が気軽にスポーツに参加できる仕組みを構築した団体等数：5団体 ● マッチングプログラムの参加者：840名 ● 障害者が参加できるイベントや大会が増えている ● スタートコーチ資格取得者：30名 ● 地域部活モデル事業等数：2

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域スポーツクラブ等による地域部活動の受け皿となる取組：9件（R3.12月末） ● 障害者が気軽にスポーツに参加できる仕組みを構築した団体等数：5団体 ● マッチングプログラムの参加者（R2：780名）（R4.2月末） ● スポーツ教室やイベントへの参加者が限定的 ● スポーツ少年団や民間クラブチームでは、中心的に指導する有資格者 ● その他、資格を持たない地域の人材や保護者がサポート的に指導している ● 地域部活モデル事業等数：1件（R4.2月末） 	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツの裾野の拡大や、子どものスポーツ実施につながる取り組みが必要 ● 人口減等により、運動部活動やスポーツ少年団などに所属する子どもが少なくなってきたり、今後の活動への影響が懸念される ● 高知市以外では特に団体競技において部活動数の減少が見られる ● 障害者が活動できるチームや団体は、高知市周辺に集中しており、障害者が身近な地域でスポーツ活動ができる環境が十分でない

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) スポーツの裾野拡大に向けた取組</p> <p>① 運動やスポーツが好きな子どもを増やす取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できるイベントの開催 ・適正に応じたスポーツに出会う機会の提供 ・指導者研修の充実 <p>(2) 子どものスポーツ環境の充実に向けた取組への支援</p> <p>① 子どものスポーツの空白を埋めるための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村関係者との課題の共有 ・調査表とヒアリングによる市町村の実態把握 ・地域の実情に応じた取組の方向性の確認 ・取組への支援 <p>② 運動部活動の充実・継続ができる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同部活動の実施や地域部活動モデル事業の実施に向けた取組 ・高等学校振興に向けた学校運動部活動の取組への支援 <p>(3) 障害児のスポーツ機会の充実</p> <p>① 障害児が気軽にスポーツに参加できる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツセンターと連携した障害児のスポーツ環境づくり ・地域のスポーツ拠点等による障害児のスポーツ環境づくりへの支援 	<p>(1) スポーツの裾野拡大に向けた取組</p> <p>① 運動やスポーツが好きな子どもを増やす取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツJAMフェスタの開催（10/3）準備→中止 ・イベント内容の決定に向けた関係団体との調整（6月～） ・マッチングプログラムの実施に向けた調整 ・マッチングプログラムⅠ…親子で運動に親しむプログラム ・マッチングプログラムⅡ…自分に合った競技を見つけるプログラム ・競技団体が主催するスポーツ体験会の広報協力（3団体） ・フェンシング体験教室（仮名）実施に向けた関係者との協議 計6回 ・指導者研修 ・スポーツ少年団スタートコーチ養成講習会 計3回 計54人参加 ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者研修会 計1回 計110名参加 <p>(2) 子どものスポーツ環境の充実に向けた取組への支援</p> <p>① 子どものスポーツの空白を埋めるための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村関係者との課題の共有 ・市町村関係者との課題の共有に向けた調査用紙の配布（7/1） ・市町村のスポーツを取り巻く環境等の調査表作成（8月） ・調査表に基づく34市町村行政担当者からのヒアリング（8～9月） <p>② 運動部活動の充実・継続ができる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同部活動の実施に向けた取組の推進 ・5競技29チーム（R3後期） ・学校部活動の地域への移行の取組（地域部活動） ＜スポーツ庁モデル事業＞ ・土佐町中学校剣道部を地域の指導者が指導する取組 活動開始時期：R3年7月1日～ 活動日：5日/週（平日4日・休日1日） 活動場所：土佐町中学校 指導者：地域の指導者 ・これからの部活動の在り方検討委員会の実施（9月・1月） ・R4年度地域運動部活動推進事業の希望調査の実施（9月） <p>(3) 障害児のスポーツ機会の充実</p> <p>① 障害児が気軽にスポーツに参加できる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツセンターとの定例会の開催による情報共有（9回）

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ● マッチングプログラムの参加者募集に関して、チラシやSNSを活用するとともに、学校やスポーツ団体等の協力を得て、情報を提供する ● 新たな地域におけるマッチングプログラムの実施の検討 ● 障害者が参加できるマッチングプログラムの検討 ● 「これからの部活動の在り方検討会」において、合同部活動及び地域部活動に関する課題の洗い出しや課題解決に向けた対策について協議を進める ● 特別支援学級に在籍する子どもへの情報提供の在り方を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● マッチングプログラムの参加者増に向けた情報発信の強化が必要 ● マッチングプログラムの実施が一部の地域に限られている ● マッチングプログラムにおいて障害のある子ども達の参加がない ● 学校部活動の地域への移行については、指導者や安全面の確保、生徒や保護者の理解がまだ十分に得られていない ● 特別支援学校との連携は進んでいるが、特別支援学級の生徒へのアプローチができていない

見直し方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ マッチングプログラムにおける保護者をターゲットにした効果的な広報（SNSの活用の工夫） ■ 山間地域におけるマッチングプログラムの実施 ■ 障害者が参加できるスポーツ体験会の開催 ■ 地域のニーズに応じた子どものスポーツ活動機会の拡充 ■ 生徒や保護者、学校、地域のニーズに応じた合同部活動及び地域部活動の推進 ■ 障害者スポーツセンター、学校、地域の福祉団体等との連携によるスポーツ情報の発信強化及びスポーツ機会の拡充
---------------	---

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(3) 障害者のスポーツ参加機会の拡充	主要な取り組み	・障害者スポーツの活動支援 / ・障害者が参加しやすい環境づくり ・スポーツ情報の活用の充実 / ・障害者スポーツの理解啓発の推進
--------	---------------------	---------	--

事業概要	障害者スポーツ推進事業 高知県社会福祉協議会をはじめ、市町村やスポーツ団体、学校、福祉関係者など、障害者スポーツの関係者が連携する仕組みづくりやスポーツ機会の拡充を図ることにより、障害者が身近な地域で安心してスポーツに参加できる環境を創出する。また、障害者スポーツの理解啓発を進め、障害の有無に関わらず誰もが一緒にスポーツを楽しむことができる環境づくりにつなげる。
------	--

令和4年度末の目指す姿
<ul style="list-style-type: none"> ●(福) 高知県社会福祉協議会を中心に、関係団体等の支援が充実し、障害者のスポーツ活動が活性化している。 ●(福) 高知県社会福祉協議会や地域スポーツハブ等が、学校、競技団体、福祉関係者などと連携を図り、障害者がスポーツに参画しやすい環境が提供されている。 ●各拠点において新たな種目の実施など、障害者のニーズに応じた受け入れが充実する。

令和4年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●県立障害者スポーツセンターの利用実績が、H29年度比20%増加 ●中央競技団体(NF)登録者数が前年度より増えている。 ●障害者が参加できるイベントや大会が増えている。

令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●県立障害者スポーツセンターの利用実績が、H29年度比10%増加 ●NF登録者数が前年度より増えている。 ●障害者が参加できるイベントや大会が増えている。

現状
<ul style="list-style-type: none"> ●県立障害者スポーツセンターの利用者数25,055名(H30)→22,600名(R元)→17,906名(R2)⇒R3:4,831名 ●NF登録者数177名(R元)→146名(R2) ●障害のある方が身近な地域で気軽にスポーツ活動を行う環境が十分に整っていない ●スポーツ教室やイベントへの参加者が限定的

課題
<ul style="list-style-type: none"> ●地域での障害者スポーツをする機会を増やすことが必要 ●障害者スポーツの理解促進が必要 ●障害の有無を問わないスポーツイベントが必要

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)
(1) 障害者スポーツの活動支援 ①スポーツハブ等と連携し、地域課題の洗い出しを実施 ②障害者スポーツコーディネーターを東部、西部に各1名を配置しコーディネート機能の強化を図る ③障がい者スポーツ指導員の養成を東部地区で実施 ④高知県障害者スポーツ大会の開催 ⑤ユニバーサルイベントの開催(9月～)
(2) 競技力向上支援 ①全国障害者スポーツ大会出場選手等へのNF登録コーディネート ②9月末より強化指定選手に競技力向上研修を開催(全3回) ③競技性の高い取組への支援(6月～)
(3) スポーツ情報の活用の充実 ①スポーツ教室やイベント、大会情報の発信 ②スポーツ大会の結果の収集・発信、メディアへのパラ選手等の情報提供 ③リモートを活用した会議・スポーツ教室(ダンス)等の開催 ④特別支援学校高校3年生へのアンケートと住所登録した方へスポーツ教室等の各種案内の送付を年度末に実施(対象:中村、若草、山田、日高の特別支援学校)
(4) 障害者スポーツの理解啓発の推進 ①学校での障害者スポーツ等体験教室(20回/年)の実施 ②市町村社会福祉協議会と連携した啓発セミナーの開催
(5) 障害者スポーツセンターとの定例会の実施

D 取り組み状況
(1) 障害者スポーツの活動支援 ①スポーツハブ等と連携し、地域課題の洗い出しを実施 ・地域スポーツハブに対し、事業活動に障害者スポーツの活動の計画を提案(既存9ハブ、新規2ハブ)→4年目の3ハブは今年度事業実施予定 ・地域スポーツハブ拠点市町村を訪問し、障害者スポーツの活動の推進について説明(10市町村) ・障害者スポーツセンターに対して、地域スポーツハブの事業概要及び拠点設置状況を説明(計2回)→西部の地域スポーツハブとの協議調整 ②東部、西部に地域の障害者スポーツコーディネーターを各1名配置(6月) ・東部コーディネーター(田野小でポッチャ体験教室調整(10/21)、東部市町村の訪問(12/15)) ・西部コーディネーター(西部幡多地区指導員会議を実施(11/13)) ③障がい者スポーツ指導員養成事業 ・東部での初級講習会の中止(新型コロナウイルス拡大のため) ④第23回高知県障害者スポーツ大会 ・フライングディスク競技開催(11/28済、12/4済、1/23済) ⑤ユニバーサルイベント ・安芸ドームで地域スポーツハブとの共同開催にて実施(12/19)
(2) 競技力向上支援 ①パラカヌー1名、知的陸上1名のNF登録支援、選手の個別相談 ②強化指定選手に対する栄養学講座の実施(12/12) ③特別強化選手5名指定・特別強化選手1名を追加決定 ・強化費:団体6チーム、個人21名指定
(3) スポーツ情報の活用の充実 ①障害者スポーツセンターへ、HP、県のスポーツNAVI等を活用 ②東京2020パラリンピック選手に係る情報の提供 ③リモートによる各種会議、パラリンピック壮行会のリモート開催(8月)
(4) 障害者スポーツの理解啓発の推進 ①体験会等:15回(6/17,10/5,21(2回),11/2,13,16,25,26,30,12/7,8,10(2回),20)1/15
(5) 障害者スポーツセンターとの定例会の実施 ・5/7県障害者スポーツ大会について、6/8今年度の計画について ・7/5第1四半期の実績について

A 見えてきた課題に対する改善策
<ul style="list-style-type: none"> ●障害者スポーツセンターと地域スポーツハブ関係者との情報共有・意見交換の場を設定する ●競技性の高い取組を目指す選手を発掘する取組を検討 ●特別強化選手の補助制度の見直しを検討 ●こうちス[®]-ツNAVIやSNSを活用した障害者スポーツ情報の発信を強化 ●東部地区で障害者スポーツの情報交換を行い、人材育成の基盤をつくる

C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●地域スポーツハブとの連携がまだ十分にできていない ●強化対象選手がまだ少ない ●障害の特性により用具等の整備に経費がかかり、選手の負担になっている場合がある ●障害者スポーツに関する情報発信が十分でない ●東部地区での障がい者スポーツ指導員の育成・確保ができていない

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■地域コーディネーターによる活動支援の充実 ■競技者の掘り起こし及び競技者への支援の充実(体験会の開催/強化選手への補助制度の見直し) ■スポーツ情報の収集・発信体制づくり ■障害者スポーツの理解・啓発の取組のさらなる充実
---------	--

施策の柱 **1** スポーツ参加の拡大

施策の方向性	(7) スポーツに親しむ場の確保	主要な取り組み	リモートでスポーツ教室や研修等ができる環境の整備
--------	------------------	---------	--------------------------

事業概要	リモートによるスポーツサービスの提供 高知県スポーツ科学センターなど、県立のスポーツ施設や地域のスポーツ施設などを中心に、リモートによるスポーツ教室や実技指導の配信等を行うことができる環境を整備し、ウィズコロナ及びアフターコロナの社会におけるスポーツ活動を効果的に推進する。
------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
◆ウィズコロナ及びアフターコロナの社会においても、県内各地でリモートを活用したスポーツサービスなどが提供され、時代に合ったスポーツ参加機会が拡充している。	●リモートによるスポーツ参加延べ人数→2,640人(地域スポーツクラブ*)	リモートによるスポーツ参加延べ人数→2,400人/年(地域スポーツクラブ*)

現状	課題
◆総合スポーツクラブ等16施設にリモート機器を設置した。 ◆リモートによるスポーツ参加延べ人数 (R4:2月末) ・地域スポーツクラブの取組: 5,490人 ・施設の取組: 4,815人 合計10,305人	◆リモート機器設置済み施設の広報が必要 ◆リモート機器を活用している団体等の活用事例を情報共有する場が必要 ◆リモート機器の使用方法について知識・経験の不足があり、積極的な活用に繋がっていない ◆リモート機器を活用したスポーツ教室等の開催ノウハウが不足している ◆使用方法についての知識・経験を蓄積するため、リモートでの会議、研修、小規模イベントの開催を促進する必要がある

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況																																																																																																																																																
<p>(1) リモートの活用</p> <p>①RSP情報交換会の開催 →市町村担当者、育成塾等でリモート機器設置施設と取組内容について広報を行う。(5/28)</p> <p>②活用実績の定期確認 (毎月)</p> <p>③RSP設置団体のリモートを活用したイベント情報等の情報共有</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【R3年度主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「みる」取組 <ul style="list-style-type: none"> ・高知県少年柔道大会のインターネット配信 ○「する」取組 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉施設等へのリモートスポーツ教室の実施 ○「ささえる」取組 <ul style="list-style-type: none"> ・SSCサポートスタッフを対象とした指導者研修 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>③RSP設置団体のリモートを活用したイベント情報等の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報及びRSP活用情報を周知 (6/15) ・各団体に現状の課題と取り組み状況を確認 (7月) ・合同リモート体操教室への参加呼びかけと開催 (11/16) </div>	<p>(1) リモートの活用</p> <p>①RSP情報交換会の開催 (4/9、12/22)</p> <p>②RSP活用実績 (延べ人数) ※総合型スポーツクラブの活動を含む (単位: 人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">月</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="5">リモート活動への参加人数 (延べ人数)</th> </tr> <tr> <th>みる</th> <th>する</th> <th>ささえる</th> <th>小計</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4月</td> <td>地域スポーツクラブの取組※</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>9</td> <td rowspan="2">26</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>21</td> <td>21</td> <td rowspan="2">136</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>115</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>29</td> <td rowspan="2">102</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>28</td> <td>45</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>607</td> <td>0</td> <td>607</td> <td rowspan="2">4,715</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>3913</td> <td>105</td> <td>90</td> <td>4108</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">8月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>514</td> <td>15</td> <td>529</td> <td rowspan="2">559</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>16</td> <td>859</td> <td>43</td> <td>926</td> <td rowspan="2">1,008</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>82</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>714</td> <td>84</td> <td>798</td> <td rowspan="2">829</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>31</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>637</td> <td>32</td> <td>669</td> <td rowspan="2">926</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>67</td> <td>190</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>580</td> <td>44</td> <td>624</td> <td rowspan="2">638</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>617</td> <td>0</td> <td>617</td> <td rowspan="2">675</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>58</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2月</td> <td>地域スポーツクラブの取組</td> <td>0</td> <td>602</td> <td>59</td> <td>661</td> <td rowspan="2">691</td> </tr> <tr> <td>施設の取組</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	月	区分	リモート活動への参加人数 (延べ人数)					みる	する	ささえる	小計	合計	4月	地域スポーツクラブの取組※	0	0	9	9	26	施設の取組	0	0	17	17	5月	地域スポーツクラブの取組	0	0	21	21	136	施設の取組	0	0	115	115	6月	地域スポーツクラブの取組	0	29	0	29	102	施設の取組	0	28	45	73	7月	地域スポーツクラブの取組	0	607	0	607	4,715	施設の取組	3913	105	90	4108	8月	地域スポーツクラブの取組	0	514	15	529	559	施設の取組	0	0	30	30	9月	地域スポーツクラブの取組	16	859	43	926	1,008	施設の取組	0	0	82	82	10月	地域スポーツクラブの取組	0	714	84	798	829	施設の取組	0	0	31	31	11月	地域スポーツクラブの取組	0	637	32	669	926	施設の取組	0	67	190	257	12月	地域スポーツクラブの取組	0	580	44	624	638	施設の取組	0	0	14	14	1月	地域スポーツクラブの取組	0	617	0	617	675	施設の取組	0	0	58	58	2月	地域スポーツクラブの取組	0	602	59	661	691	施設の取組	0	0	30	30
月	区分			リモート活動への参加人数 (延べ人数)																																																																																																																																													
		みる	する	ささえる	小計	合計																																																																																																																																											
4月	地域スポーツクラブの取組※	0	0	9	9	26																																																																																																																																											
	施設の取組	0	0	17	17																																																																																																																																												
5月	地域スポーツクラブの取組	0	0	21	21	136																																																																																																																																											
	施設の取組	0	0	115	115																																																																																																																																												
6月	地域スポーツクラブの取組	0	29	0	29	102																																																																																																																																											
	施設の取組	0	28	45	73																																																																																																																																												
7月	地域スポーツクラブの取組	0	607	0	607	4,715																																																																																																																																											
	施設の取組	3913	105	90	4108																																																																																																																																												
8月	地域スポーツクラブの取組	0	514	15	529	559																																																																																																																																											
	施設の取組	0	0	30	30																																																																																																																																												
9月	地域スポーツクラブの取組	16	859	43	926	1,008																																																																																																																																											
	施設の取組	0	0	82	82																																																																																																																																												
10月	地域スポーツクラブの取組	0	714	84	798	829																																																																																																																																											
	施設の取組	0	0	31	31																																																																																																																																												
11月	地域スポーツクラブの取組	0	637	32	669	926																																																																																																																																											
	施設の取組	0	67	190	257																																																																																																																																												
12月	地域スポーツクラブの取組	0	580	44	624	638																																																																																																																																											
	施設の取組	0	0	14	14																																																																																																																																												
1月	地域スポーツクラブの取組	0	617	0	617	675																																																																																																																																											
	施設の取組	0	0	58	58																																																																																																																																												
2月	地域スポーツクラブの取組	0	602	59	661	691																																																																																																																																											
	施設の取組	0	0	30	30																																																																																																																																												

A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<p>●設置施設を所管する団体や市町村等に対して、スポーツイベントや大会等における積極的なリモート活用を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置施設におけるリモートを活用した事例や操作方法が他の施設や市町村等に共有され、さらなる活用につながるよう、設置施設等に対して、毎月の活動事例等の情報を提供 ・リモート会議の積極的な開催により、操作方法や運用方法に関する助言などを行い、設置施設におけるリモート操作方法の習得を促進 ・大学関係者や有識者による取組のブラッシュアップ (設置施設関係者等による定期的な情報交換会の開催) の検討 	<p>●活用団体から機器の操作方法や活用方法の支援が求められている</p> <p>●設置施設を所管する団体等の連携による活用がまだ少ない</p> <p>●サテライト機器の活用が十分でない →地域スポーツクラブの拠点がある市町村以外 (広域・エリア単位) での活動が少ない</p> <p>●機器の活用は進んできたが、団体により使用頻度に差がある</p> <p>●活用の内容が限定的 →体操やヨガといった動きが少ない活動が中心</p>

見直しの方向性	<p>■リモートによるスポーツ活動の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設置施設へのリモート活用事例のさらなる周知 ○リモートによる県外の講師や団体の積極的な活用促進 	<p>■効果的なリモート活用に向けた検討・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活用団体間で連携したリモート活動の促進 ○個人情報適切に管理するためのセキュリティ対策の周知 ○県内関係者間の情報共有の徹底
---------	--	---

施策の柱 2 競技力の向上

施策の方向性	(1) 新たなスポーツ推進体制による戦略的な競技力強化	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●さらなる競技力向上に向けた強化 ●競技団体の実情に応じた効果的な強化 ●全高知チームによる重点強化 ●選手強化におけるPDCAの徹底
---------------	-----------------------------	----------------	--

事業概要	競技スポーツ選手育成強化事業 競技団体が各々の実情に応じて、効果的な強化や全高知チームによる重点強化、選手強化におけるPDCAの徹底を着実に進めることができるよう、県スポーツ協会が各競技団体を多方面からサポートすることを支援する。		
-------------	---	--	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●各競技団体に系統的な育成強化ができる体制が構築され、国民体育大会をはじめとする全国大会等で、安定した成績を残す競技団体が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国民体育大会入賞競技数（18競技） 	<ul style="list-style-type: none"> ●国民体育大会入賞競技数（13競技）→大会中止

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●国民体育大会入賞競技数 R元年度：10競技⇒R2年度：大会中止⇒R3年度：大会中止 ●国民体育大会において安定した入賞実績を残す競技団体が少なく、固定されている 	<ul style="list-style-type: none"> ●選手強化において、競技団体におけるPDCAサイクルの取組についての評価・改善を徹底する必要がある ●各競技団体において、競技者育成プログラムに基づきジュニアから系統立てた一貫指導を行う必要がある

令和3年度の取り組み状況

当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) PDCAサイクルに基づく競技力強化への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「競技者育成プログラム」・RPDCAシートによる中長期・短期強化計画の見直し（40競技） ※R:リサーチ（現状分析） ・全高知チームによる重点強化（15競技） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 水泳、陸上、サッカー、柔道、剣道、ラグビー、レスリング、ソフトボール、卓球、ライフル射撃、バドミントン、カヌー、バスケ、ソフトテニス、バレーボール </div> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに加わった全高知チーム（バレーボール）への支援 ・スポーツ協会とスポーツ課によるヒアリング ・競技団体の課題抽出 <p>(2) PDCAの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとの進捗管理及び分析（7月・10月・1月・4月） ・競技団体の課題解決に向けた支援 <p>(3) 競技団体の強化活動について次年度へ向けた検証・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会とスポーツ課によるヒアリング ・活動内容の検証・評価 <p>(4) 各競技団体における適切なガバナンスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40競技団体（一般スポーツ団体向け）におけるガバナンスコードの作成 ・セルフチェックシートによる6項目の原則の確認 	<p>(1) PDCAサイクルに基づく競技力強化への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPDCAにより現状を把握し、四国ブロック大会等に向けた取組を実施（全競技） ●全高知チームによる重点強化（15競技） トップコーチによる強化練習 （バスケ、サッカー、剣道、柔道、レスリング、ライフル射撃、バドミントン） <p>サポートコーチによる強化練習（バスケ、剣道、ソフトテニス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会四国ブロック大会への出場 実施競技：30競技 会場地：愛媛県（ボート、スポーツライティング） 高知県（水球） 上記以外は徳島県 期 間：6月27日（日）～8月29日（日） ※8月26日に三重国体（本国体）の中止が決定 ・冬季国民体育大会四国ブロック大会への出場 会場地：香川県（アイスホッケー） 期 間：12月4日（土） <p>(2) PDCAの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1四半期の進捗管理及び分析（7月） ・第2四半期の進捗管理及び分析（10月） ●第3四半期の進捗管理及び分析（1月） <p>(3) 競技団体の強化活動について次年度へ向けた検証・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医科学の活用に関する競技団体へのヒアリング（16競技）
A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍における効果的な育成・強化活動の検討・実施 ●各競技団体において、今後の強化計画を確認し必要に応じて見直す 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍において選手の育成・強化活動が制限されている ●競技力の指標となる国民体育大会（三重大会）が中止となったことを踏まえた今後の強化計画の検討が必要

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 競技団体の組織的な活動のさらなる充実 ○ RPDCAの徹底 ○ 全高知チームの取組の充実 ○ 競技ごとの特性に応じた効果的な育成・強化の実施
----------------	---

施策の柱 **2** 競技力の向上

施策の方向性	(2) 系統立てた育成・強化体制の確立	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●ジュニア選手育成 ●スポーツを知る・出会う機会の拡充【発掘】
事業概要	<p>・高知県バスウェイシステム事業 【マッチングプログラム (I-1、I-2、II-1、II-2) 高知くろしおキッズ・ジュニア】</p> <p>・幼児から小学低学年の子どもへ運動やスポーツを行う機会を提供したり、小学中・高学年の児童へ自分に合った競技を見つめられる測定会やスポーツ体験会を実施するなど、体を動かす機会や専門的にスポーツを始める機会を提供する。</p> <p>・体力運動能力に優れた小学生を発掘し、運動能力を高めるトレーニングや競技プログラムを実施するなど、将来の有望選手を発掘、育成していく取り組み。併せて競技団体へつなげる活動も行う。</p>		
令和4年度末の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ●自分に合ったスポーツに出会う機会が増えている ●種目転向が円滑に行われている ●各競技団体において誰でも挑戦できるシステムが確立されている ●全国大会で優秀な成績を収める選手が増加している 	令和4年度の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●マッチングプログラムの参加者が890名 ●キッズ応募者が180名以上 ●キッズの体力A判定が7割以上 ●キッズ修了生が国際大会へ3名出場
現状	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の適性に合った競技を見いだす機会が少ない ●本事業の認知度が低い ●キッズ参加者の運動能力の向上 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ体験教室の実施への工夫 (マッチングプログラム) ●育成プログラムの質の向上 (くろしおキッズ・ジュニア) ●広報活動の工夫及び強化 (マッチングプログラム、くろしおキッズ・ジュニア)

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
<p>(1) マッチングプログラム (定員: R2年度780名 (参加者500名) R3年度⇒840名) 【実施時期】9月末から11月末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチング I …親子で運動に親しむ。年中から小学2年生が対象 I-1…日本トップリーグ機構主催『あそびバ!』を3地域で実施 (150名) I-2…対象年代にあった運動プログラムを3地域で実施 (180名) ・マッチング II …自分に合った競技を見つける。小学3～6年生が対象 II-1…スポーツ能力発見協会主催の体力測定会の実施 (300名) II-2…競技体験教室の実施。3地域で開催 (210名) <p>①競技との出会いを増やす ●郡部地域などで小規模のマッチングプログラム実施に向けた検討</p> <p>②広報活動の工夫及び強化 ●インターネットやツイッターなどSNSを活用した情報発信 ●チラシ、ポスターなどの工夫 ●チャレンジ参加者への継続的な情報提供</p> <p>③スポーツ体験教室の実施へ向けての工夫 ●スポーツハブなどスポーツ関係団体及び競技団体へヒアリング ●地域特性に合う種目の選定</p> <p>(2) 高知くろしおキッズ・ジュニア 〔R2年度募集定員20名程度 選考会応募者数167名〕 〔R3年度在籍数 キッズ: 61名 ジュニア: 5名〕</p> <p>【実施回数】年間18回 (※ジュニアは年間6回) ・内容…競技体験、運動能力・知的能力の向上を目的とした育成プログラム</p> <p>①広報活動の工夫及び強化 ●活動内容の情報発信を通して、ブランド化を図る (SNSの有効活用、高知くろしおキッズユニフォームの作成に向けての検討) ●キッズ・ジュニアの大会成績等の情報共有・発信 ●マッチングプログラムの参加者にチラシ等の配布</p> <p>②育成プログラムの質の向上 ●競技団体と連携した競技プログラムの作成 ●自宅でのトレーニングの充実 (トレーニング動画の提供) ●プログラム討論会の実施 ●アンケートの実施 (8月、年度末の2回)</p>	<p>(1) マッチングプログラム 合計: 1,171名 ○マッチングプログラム I (対象: 年中～小2) 計6回(814名) ・親子で運動を楽しむプログラム ※東部・中部・西部各2回 ○マッチングプログラム II (対象: 小3～小6) 計4回(357名) ・自分にあった競技を見つけるための体力測定や競技体験 ※東部・西部各1回、中部2回</p> <p>(2) 高知くろしおキッズ・ジュニア ●4/25 (認定式)、1/16 (修了式) ●実施回数 (2/22現在) ・4年生17回・5年生17回・6年生17回・中学生6回</p> <p>●実施種目 (2/未現在) (計15種目) ・トランポリン/飛び込み/ライフル射撃/ハンドボール/体操/カヌー/ラグビー/知的プログラム/トレーニングプログラム/体力測定/フェンシング/レスリング/ゴルフ/バドミントン/プレゼン・面談</p> <p>●中止 (カヌー (1回) →施設の改修工事、気温の低下により中止 レスリング (1回) →参加者が見込めないため中止 バレーボール (1回) →新型コロナウイルス感染症の影響)</p> <p>●育成プログラム実施基準の変更 新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインの改訂 ⇒育成プログラム実施基準を県内外の公式戦準ずる扱いに変更</p> <p>●「四国ジュニアアスリートキャンプin香川」へ参加 (5年生)</p> <p>●高知くろしおキッズ選考会「チャレンジ1」の実施 申込数: 合計166名 (中部128名、西部38名)</p> <p>①広報活動の工夫及び強化 ●高知くろしおキッズ・ジュニアのHP運営 ●SNSの活用 ●テレビで特集番組の放送</p> <p>②プログラムの質の向上 ●宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信 ●高知くろしおキッズに対するアンケートを実施 (講師用) ●プログラム検討会の実施</p>
A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●山間地域でのマッチングプログラム実施の検討 ●障害者が参加できるマッチングプログラムの検討 ●競技の転向を希望するキッズに対する該当競技の情報提供の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●マッチングプログラムの実施が一部の地域に限られている ●マッチングプログラムにおいて障害のある子ども達の参加がない ●くろしおキッズの取組において競技転向に繋がる事例が少ない

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ マッチングプログラムにおける保護者をターゲットにした効果的な広報 (SNSの活用の工夫) ■ 山間地域におけるマッチングプログラムの実施 ■ 障害者が参加できるスポーツ体験会の開催 ■ くろしおキッズにおけるプログラム内容の充実 ○オリンピックの協力 ○合宿プログラムの実施 ○新たな種目の追加 等
----------------	--

施策の柱 **2** 競技力の向上

施策の方向性	(3) 指導者等の育成及び受け入れの推進	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大及び指導力向上 ●ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大・指導力向上
---------------	----------------------	----------------	---

事業概要	<p>指導者育成事業（スタートコーチ養成講習会・公認スポーツ指導者資格養成講習会・スポーツ指導者フォーラム等）</p> <p>スポーツ少年団をはじめ、総合型地域スポーツクラブ・学校運動部活動において、必要最低限度の知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する「スタートコーチ」など、公認スポーツ指導者資格取得者の増加を目的とする取り組みに対して支援する。また、スポーツ推進委員の研修や障害者スポーツの指導者の育成を行う。</p>
-------------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●選手の年齢・発達段階・技術の習熟度等を踏まえた柔軟な指導力や科学的・合理的な指導力を有する質の高い指導者が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートコーチ資格取得者100名 ●日本スポーツ協会公認指導者数（スタートコーチ除く）1,500名 ●日本障がい者スポーツ協会公認指導者数 初級150名 中級80名 上級19名 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートコーチ資格取得者30名 ●日本スポーツ協会公認指導者数（スタートコーチ除く）1,400名 ●日本障がい者スポーツ協会公認指導者数 初級153名 中級63名 上級20名

現状
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ少年団や民間クラブチームでは、中心的に指導する有資格者の他、資格を持たない地域の人材や保護者がサポート的に指導している ●スタートコーチ資格取得者(R3年度から実施)：54名 (R3.12月末) ●日本スポーツ協会公認指導者(コーチ・教師)：1,371名 ●日本障がい者スポーツ協会公認指導者 初級114名 中級58名 上級18名 (R3.3月末)

課題
<ul style="list-style-type: none"> ●スタートコーチを増やす必要がある ●県内で公認指導者資格が取得できる講習会は限定されるため、県外の講習会に参加する必要があり、経費や受講日数の確保等により、有資格者の増加につながりにくい ●県内の指導者の指導力を底上げする必要がある

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>(1) スポーツ少年団指導者の登録拡大・指導力向上 ・スタートコーチ養成講習会（3回/年）</p> <p>(2) スポーツ推進委員による活動の拡充 ・スポーツ推進委員初任者研修会（8月） ・スポーツ推進委員四国ブロック研修会（1月）</p> <p>(3) 公認指導者資格取得講習会の県内開催の拡充 ①県内で開催する公認指導者資格取得講習会の充実 ・日本レクリエーション協会公認資格 ・日本障がい者スポーツ協会公認資格 ②指導者資格取得講習会の県内開催の拡大 ・日本スポーツ協会公認資格 (軟式野球、バドミントンの専門科目の県内講習会を実施) (更新研修4回/年)</p> <p>(4) 全高知チームを中心とした県内指導者の研修の充実 ①全高知チームごとの実践研修の実施 ・県内の指導者を対象とした実践研修 ②競技団体ごとの実践研修の実施（※全高知チーム以外） ・アドバイザー・招聘事業等を活用した実践研修 ③スポーツ指導者フォーラムの開催（11月） ・全高知チームのトップコーチ等を中心に競技団体の垣根を越えた指導者研修会の開催</p> <p>(5) スポーツ医学の活用 ※P.12(2) 研修・支援事業参照</p> <p>(6) 障がい者スポーツ指導員養成事業 ①障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級）実施（未定） ②障がい者スポーツ指導員養成講習会（上級） リモート（7月・10月） 派遣（12月）</p>	<p>(1) スポーツ少年団指導者の登録拡大・指導力向上 ・スタートコーチ養成講習会 第1回 開催地：安芸市 参加者10名 (6/6) 第2回 開催地：須崎市 参加者6名 (6/20) 第3回 開催地：高知市 参加者38名 (7/4)</p> <p>(2) スポーツ推進委員による活動の拡充 ・初任者研修会 開催地：高知市 参加者42名 (8/1)</p> <p>(3) 公認指導者資格取得講習会の県内開催の拡充 ①県内で開催する公認指導者資格取得講習会の充実 ・障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級）の中止 ②指導者資格取得講習会の県内開催の拡大 ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者研修会 第1回 開催地：高知市 参加者62名 (7/4) 第2回 開催地：高知市 参加者26名 (11/7) 第3回 開催地：高知市 参加者22名 (12/5) ・バドミントンコーチ2養成講習会 開催地：高知市 参加者10名 (10/2～12/11) 計4回 ・軟式野球コーチ1養成講習会 開催地：高知市 参加者10名 (12/11～1/16) 計3回</p> <p>(4) 全高知チームを中心とした県内指導者の研修の充実 ・全高知チームによる重点強化（7競技） トップコーチによる強化練習 (バスケットボール、サッカー、剣道、柔道、レスリング、ライフル射撃、バドミントン) ・サポートコーチによる強化練習 (バスケットボール、剣道、ソフトテニス)</p> <p>(5) スポーツ医学の活用 ・スポーツ医学の活用に関する競技団体へのヒアリング（16競技） ・ヒアリングの実施（須崎市5/12、その他アンケートの実施） ・競技別コーディネーターの研修会 年間2回 (11/28) ・サポートチームスタッフの研修会 年間8回 (5/16、9/25) ・地域のスポーツ指導者やスポーツ拠点のスタッフの研修会 年間5回 9/26 (土佐清水)</p> <p>(6) 障がい者スポーツ指導員養成事業 ①障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級）の中止 ②障がい者スポーツ指導員養成講習会（上級） リモートによる開催（7月・10月）</p>

A 見えてきた課題に対する改善策
<ul style="list-style-type: none"> ●リモートによる講習会の実施の検討及び予備日の確保 ●スポーツ医学研修におけるニーズに応じた研修内容の検討 ●障がい者スポーツ指導員が少ない地域を対象とした養成講習会の開催を検討

C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの影響により、指導者講習会の開催が遅れている ●スポーツ医学に関する研修会において地域スポーツ関係者の参加が少ない ●障がい者スポーツ指導員（有資格者）が少ない地域がみられる

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍でも継続して指導者が養成できる機会の確保 ■対象者のニーズや実情に応じた研修の実施（研修内容や実施地域の工夫）
----------------	---

施策の柱 **2** 競技力の向上

高知県スポーツ振興の強化ポイント

P50

事業実施計画

P86

施策の方向性	(4) スポーツ医学の効果的な活用	主要な取り組み	●高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医学サポートの強化
---------------	-------------------	----------------	-------------------------------------

事業概要	スポーツ科学センター管理運営委託事業 スポーツ現場において行われる、競技力向上や健康の維持増進に向けた技術練習やトレーニングが、年齢、体力、競技特性に応じて、合理的かつ効率的に行われるよう、スポーツ医学の見地から様々なサポートを行う。
-------------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
●選手にスポーツ医学のサポートが行き届き、効果的な育成・強化が図られている。	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ医学を積極的に活用する競技団体が増加する(41団体) ●SSC利用者の増加(前年度比10%増) ●SSCの各種サポートを利用したアスリートが成果を実感している(アンケートによる実感率80%以上) ●県内のアスリートのスポーツ障害が減少している(メディカルチェック要再検査以上の割合が30%以下) 	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ医学を積極的に活用する競技団体が増加する(30団体) ●SSC利用者の増加(前年度比10%増) ●SSCの各種サポートを利用したアスリートが成果を実感している(アンケートによる実感率80%以上) ●県内のアスリートのスポーツ障害が減少している(メディカルチェック要再検査以上の割合が35%以下)

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●活用する団体数：(R1) 11団体⇒(R2) 11団体⇒R3:15団体 ●体力測定：(R1) 652名⇒(R2) 521名⇒R3:503名 ●各種サポート：(R1) 88件⇒(R2) 231件⇒R3:346件 ●アンケート実感率：(R2) 93.3%⇒R3:95.2% ●スポーツ障害(要再検査以上割合)：(R1) 47%⇒(R2) 36.6%⇒R3:45.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ●サポート増により、測定とサポートが同じ空間で重なる場合があり、質の低下が懸念される ●SSCのサポートを行うスペースの確保 ●SSCスタッフの資質の向上及び、専門性を有するスタッフの増員 ●競技団体(競技指導者)のスポーツ医学を活用する意識の醸成

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
<p>(1) パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSC活用についての全高知チームを中心としたヒアリングの実施及び利用促進に向けた働きかけ ・SSC、スポーツ協会、スポーツ課の合同ミーティングの実施(適宜) ・専門体力測定を踏まえたサポートの実施 <p>(2) 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技別コーディネーター(各競技団体に配置される医学担当)の育成(年間2回の講習会を実施予定) ・サポートチームスタッフ(スポーツ医学面から選手をサポートする各分野の専門スタッフ)の資質向上及び育成(年間8回の研修を実施予定) ・地域のスポーツ指導者やスポーツ拠点のスタッフの資質向上(年間5回の研修を実施予定。実施地域検討の為、地域スポーツハブを中心としたヒアリングの実施(適宜)) ・上記研修会等のリモートでの並行実施 <p>(3) 研究・情報活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによるスポーツ医学情報(動画を含む)の発信 <p>(4) 高知県スポーツ科学センター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業改善の提案及び助言、管理運営の状況を適切に評価 ・年間2回の実施(7月、2月) 	<p>(1) パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSC活用についての全高知チームを中心としたヒアリングの実施及び利用促進に向けた働きかけ ●ヒアリングの実施 ●スポーツ医学の活用に関する競技団体へのヒアリング(適宜)(全高知チーム中心) ・SSC、スポーツ協会、スポーツ課の合同ミーティングの実施(適宜) ●合同ミーティングの実施(4/14、7/20) ・専門体力測定を踏まえたサポートの実施 ●体力測定の実施 4月(23名) 5月(23名) 6月(41名) 7月(22名) 8月(18名) 9月(30名) 10月(33名) 11月(119名) 12月(108名) 1月(50名) 2月(36名) (一般51名、専門452名) 合計 503名 ●各種サポートの実施(外部サポートを含む) 4月(93名) 5月(42名) 6月(62名) 7月(136名) 8月(166名) 9月(19名) 10月(75名) 11月(91名) 12月(171名) 1月(74名) 2月(43名) 【コンディショニング770名(307回)、栄養122名(27回)、メンタル4名(4回)、映像76名(8回)】 (サポートトータル972名、346回) <p>(2) 研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヒアリングの実施(須崎市5/12、その他アンケートの実施) ●競技別コーディネーターの研修会 年間2回(11/28、3/6予定) ●サポートチームスタッフの研修会 年間8回(5/16、9/25、11/13、11/17、2/10、2/17) ●地域のスポーツ指導者やスポーツ拠点のスタッフの研修会 年間5回 9/26(土佐清水) 12/5(宿毛) 1/22(南国) 延期3/19(南国) 予定 <p>(4) 高知県スポーツ科学センター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1回高知県スポーツ科学センター推進協議会(7/28、2/21)
A 見えてきた課題に対する改善策	C 見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ医学の有効性を示す取り組みの検討・実施 ●研修・支援事業における効果的な研修内容の検討・実施 ●参加者増に向けた効果的な広報活動の検討・実施 ●SSCの体制強化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●競技団体等の指導者にスポーツ医学の重要性や有効性が十分に浸透していない ●利用者数全体は増加傾向にあるが、スポーツ医学の活用の定着が一部の競技に限られているとともに、活用している団体においても、頻度や内容が限定的 ●スポーツ医学の活用拡大のためには、SSCの体制強化が必要

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■高知県スポーツ科学センター(SSC)の体制強化 ○サポート体制の充実 ○SSCスタッフの資格取得促進 ○SSCスタッフの育成プログラムの作成・実施 ○日本スポーツ振興センターとの連携強化(連携事業の実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ医学の効果的な活用の推進 ○競技団体のスポーツ医学の計画的な活用に向けたSSCによる支援強化 ○競技ごとのスポーツ医学活用事例の紹介(SSCスタッフ→競技団体へ紹介) ○デジタル機器の活用 ■高知県スポーツ科学センター(SSC)による研修内容の充実 ○競技団体、学校運動部活動、スポーツ団体と連携したニーズに応じた研修会の実施 ○リモートによる研修会の拡充
----------------	--	---

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツツーリズムによる交流人口の拡大 ・プロスポーツのキャンプや大会の誘致／高知龍馬マラソンの開催
--------	-----------------------	---------	--

事業概要	<p>プロスポーツ・アマチュアスポーツの誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本を代表するプロスポーツである野球（NPB）、サッカー（Jリーグ）、ゴルフのキャンプや大会を誘致することやアマチュアスポーツの合宿や大会の誘致により、県民のスポーツに対する機運の醸成を図るとともに、県外からの入込客数の拡大を図り、地域経済の活性化につなげる。また、キャンプ地としての認知度を高めることで、アマチュアスポーツ合宿の獲得にもつなげる。 ・アマチュアスポーツ合宿については、各関係団体を通じて、県内外のキーパーソンのネットワークを活用するなど、強豪チームを誘致することで競技力の向上につなげる。
------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●県外からの誘客が期待できるプロスポーツのキャンプやプレシーズンマッチ、各公式戦等が増加している。 ●各市町村や、関係団体、県観光コンベンション協会と連携し、波及効果の高いアマチュア合宿・大会の誘致が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外入込客数14万人 ※施策の柱3基本目標 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外入込客数13万人 ※施策の柱3基本目標

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●県外からのスポーツによる入込客数：10,685人（R3.暦年） ・プロスポーツ：4,243人 ・アマチュアスポーツ合宿・大会：6,442人 	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの入込客数を呼べる、新規球団等の誘致や、新しい大会の開催 ●Jリーグキャンプの県外からの入込客数が少ない ●高知県アマスポーツ合宿支援助成金（KVCA）の更なる周知

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）
<p>(1) プロスポーツ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①プロ野球 <ul style="list-style-type: none"> ・新規球団を含め、各球団への誘致活動 ②Jリーグ <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果のある、Jリーグチームへのキャンプ誘致活動 ③プロゴルフ <ul style="list-style-type: none"> ・2大会の継続開催に向けた協議 ④ラグビー <ul style="list-style-type: none"> ・新規チームの誘致活動 <p>(2) アマチュアスポーツ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ターゲットを絞った誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・高知県の強みを生かした合宿誘致 ・強豪校やトップチームとの実践練習につなげる合宿誘致 ・交流を目的とした合宿誘致及び大会の参加促進 ②関西圏を中心とした誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・関西の旅行会社や大阪観光局等と連携した関西圏からの合宿誘致 ・中四国などのマイクロツーリズム活性化を意識した誘致

D 取り組み状況
<p>(1) プロスポーツ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①プロ野球 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉ロッテ県フェア（8/15）・西武ライオンズ県フェア開催（8/24） ・阪神タイガース高知県・安芸市フェア開催（9/11） ・オリックスバファローズ秋季キャンプ 高知市東部球場（11/5～19） ・阪神タイガース春季キャンプ（2/1～28） ・西武ライオンズB班春季キャンプ（2/1～21） A班（24～27） ②Jリーグ <ul style="list-style-type: none"> ・アルビレックス新潟ミニキャンプ実施（4/22,23） ・横浜Fマリノス県フェア開催（5/30） ・アルビレックス新潟県フェア開催（6/26） 春季キャンプ（1/18～2/11） ・ブラウブリッツ秋田春季キャンプ（1/11～2/18） ・徳島ヴォルティス春季キャンプ（1/13～16）・カターレ富山（2/1～13） ③プロゴルフ <ul style="list-style-type: none"> ・カシオワールドオープンゴルフ開催 黒潮CC（11/25～28） ④ラグビー <ul style="list-style-type: none"> ・N T Tコミュニケーションズとのキャンプ誘致について協議（4/1） ・ラグビートップリーグ開催（4/3） ・N T Tコミュニケーションズ V S 宗像サニックス ・近鉄ライナーズとのキャンプ誘致について協議（4/8,11/19） ・パナソニックワイルドナイツとの協議（7/6,8/6,10/8） ・パナソニックワイルドナイツ高知キャンプ実施（10/4～10/8） ・パナソニックとのスポーツを通じた連携協定の締結（12/27） ・パナソニックワイルドナイツの公式戦ホームゲームで高知県PR（1/23） <p>(2) アマチュアスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな合宿誘致に向けた協議（合宿助成金の説明含む） 県レスリング協会（4/23） 中央高校ハンドボール部（4/23） 土佐町企画推進課（5/17） 中央高校女子バスケ部（6/9） 須崎市生涯学習課（6/21） 岡豊女子バスケ部（6/23） 安芸中高陸上部（6/30） 明徳義塾バスケ部（9/29） ・青山学院大学陸上部の合宿（2/12～2/21） ・関西の旅行会社や大阪観光局等と連携した関西周辺からの合宿等の誘致（旅行会社54社訪問）

A 見えてきた課題に対する改善策
<p>(2) アマチュアスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たに新設したバス利用へ助成制度や新規団体誘致へのインセンティブ制度の周知 ●県内競技団体等のキーパーソンから得た情報をKVCAや大阪観光局等と情報共有するとともに、積極的な誘致活動を展開する ・新設したバス利用への助成制度や新規団体誘致のインセンティブ制度等による誘致活動の強化 ・市町村における合宿受入可能種目や受入可能施設の掘り起こし ・県内全域のスポーツ施設や宿泊施設等を組み合わせ合わせた合宿の提案

C 見えてきた課題
<p>(2) アマチュアスポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの影響により県内での合宿の減少が見込まれる ●新たな合宿の誘致については、主な県立スポーツ施設や高知市周辺のスポーツ施設だけでは受入れに限界がある ●合宿を実施している競技に偏りがみられる

見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ターゲットを絞った誘致のさらなる強化 <ul style="list-style-type: none"> ○日本代表チームやトップチームの誘致強化 ○県内キーパーソンのネットワークによるターゲット競技の誘致 ○自然環境を生かしたスポーツや若者に注目されている競技の誘致 ○関西圏のチームや学校への誘致 ○本県での合宿実績のある団体へのPR活動の実施 ○受入可能施設の掘り起こし及び合宿受入種目の拡大 ■市町村や民間団体等と連携したスポーツ合宿の受入れ <ul style="list-style-type: none"> ○県内スポーツ施設の有効活用 ○地域スポーツクラブによるスポーツツーリズムの拡充 ○民間団体等が行うスポーツツーリズムの取組との連携及び取組への協力・支援 ■大会の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ○中四国大会や全国大会の誘致促進 ○障害者スポーツ大会の誘致
---------	---

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	●スポーツツーリズムによる交流人口の拡大 ・アマチュアスポーツの大会・合宿の誘致 ・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進
---------------	-----------------------	----------------	---

事業概要	自然環境を生かしたスポーツイベントの開催促進 本県の自然環境を生かしたスポーツアクティビティの活性化に向けて、環境整備やプロモーションを推進する。
-------------	---

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●県内全域で自然環境を生かした多様なスポーツイベントが行われ、地域が活性化されている。 ●県内のスポーツアクティビティに多様性があり、誘客の促進ができています。 ●関係各所と連携し、スポーツによる滞在型観光につながっている。 ●県内からのインナーブランディングが活性化され機運醸成が図れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外からのスポーツによる入込客数14万人 ●自然環境を生かしたスポーツ大会やイベントが増えている。 ・大会数 5 種目数 3 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外からのスポーツによる入込客数13万人 ●自然環境を生かしたスポーツ大会やイベントが増えている。 ・大会数 4 種目数 2

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●県外からのスポーツによる入込客数：10,685人 (R3.暦年) ●自然環境を生かしたスポーツ大会やイベント数(自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業助成金を活用した大会等)大会数:1 種目数:1 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ●自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ●スポーツを起点とした経済・地域の活性化

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画 (今後の取り組み予定)	D 取り組み状況
<p>(1) 県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ・各市町村、協議会・各スポーツ団体等へスポーツイベントの開催状況やニーズ等について把握・検討</p> <p>(2) 自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ・新設イベントの支援 ・自然環境を生かしたスポーツ大会支援事業助成金要綱 (KVCA) について、より活用しやすくなるよう改正を含め関係機関と検討</p> <p>(3) スポーツを起点とした経済・地域活性化に向けた検討 ・ぐるっと高知サイクリングロードのソフト・ハード両面の磨き上げ ・スポーツを起点とした交流人口の拡大と県内からのインナーブランディングを図る仕組みづくり ・意見交換会の開催 (高知県の自然環境を生かしたスポーツツーリズム推進に関するランドデザインの (案) 作成・実行に向けて県内6名のアドバイザーとともに意見交換を実施)</p>	<p>(1) 県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ・予土県境地域連携実行委員会総会 (書面開催) を実施 (4/9) ・2RVRの継続及び代替事業について検討(7/1)(8/31)</p> <p>(2) 自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ・フィッシングイベントについて観光政策課と協議 (5/14) ・輪旅高知(RINTABI KOCHI)インスタグラムアカウント作成 (7/20) ・県内市町村へ受入可能な施設や競技などの調査を実施(7/24)</p> <p>(3) スポーツを起点とした経済・地域活性化に向けた検討 ①ぐるっと高知サイクリングロード ・自転車道の改修に伴い、上級コース④パシフィックオーシャンロードのコース変更を実施 (5/10) ・ぐるっと高知サイクリングロードのブルーライン及びピクトグラムの設置を依頼 (5/10) ・サイクリングオアシスに登録されている道の駅等にパンフレットを配布 ・HP用写真撮影 (7/2, 8, 21) ・ジャパンサイクリングリーグ関係者との協議 (7/16) (9/16,17)</p> <p>②四国4県関連 ・第1回協議会 (書面開催) を実施 (4/28) ・道の駅等にパンフレットを配布 ・サイクルモード大阪への出展 (7/24, 25)</p> <p>③自然環境を生かしたスポーツツーリズム推進 ・意見交換会の開催 (5/27) (9/15) 参加者：アドバイザー、県観光コンベンション協会、スポーツ課 内容：事業スキーム、コンテンツ、運営方法について</p> <p>④JCL (ジャパンサイクリング) ・本県での開催に向けた、JCL及び県内関係者との協議 (12/3) ・リーグチェアマンから知事ヘリテージについて説明 (12/6)</p>
<p>A 見えてきた課題に対する改善策</p> <p>(1) 県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ●受入れ環境の充実に向けて、関係機関・団体とのさらなる情報共有及び対策の検討 ●既存のイベントの実施形態や運営方法について関係団体と検討</p> <p>(2) 自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ●自然環境を生かしたスポーツ大会の開催支援については、新たな大会の掘り起こしや磨き上げにつながるため、競技団体や市町村にヒアリングや情報提供等を行う</p> <p>(3) スポーツを起点とした経済・地域活性化に向けた検討 ●コース変更に伴う整備について、関係自治体及び関係部局と調整 ●自然環境を生かしたスポーツツーリズムの意見交換会を継続し、早期に事業スキームや目指す姿を明確にする ●地域のスポーツツーリズムの資源の確認を行う</p>	<p>C 見えてきた課題</p> <p>(1) 県内の自然環境を生かしたスポーツの現状・課題分析 ●サイクリングにおける受入環境(二次交通、配送等)の整備が不十分 ●新型コロナウイルスの影響で県内で開催されるスポーツイベントが中止になっており、ウィズコロナの状況下でも実施できるイベントの検討が必要</p> <p>(2) 自然環境を生かしたスポーツイベントのスタートアップ支援 ●新たなイベントがサイクリングに限定されている</p> <p>(3) スポーツを起点とした経済・地域活性化に向けた検討 ●コース変更に伴う、サイクリングロードの整備が必要 ●地域の特色あるスポーツツーリズムの新たなプラットフォーム (情報発信サイト) の運用の仕方や関係者の関わり方などのさらなる検討が必要</p>

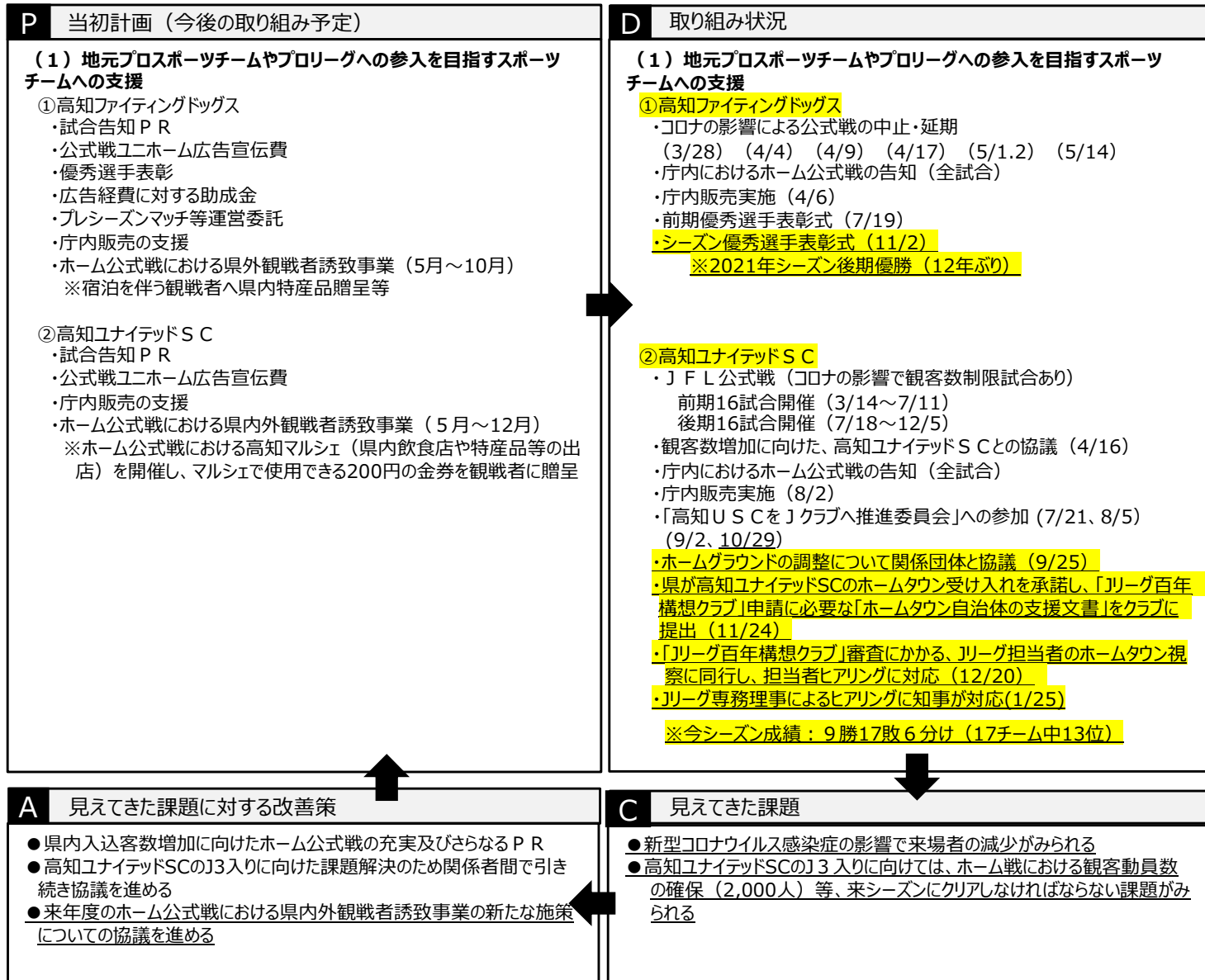
見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ぐるっと高知サイクリングロードの充実 <ul style="list-style-type: none"> ○ナショナルサイクルルートの認定に向けた取組への支援 ○安全にサイクリングが楽しめる環境整備 ○関係機関・団体等と連携した受入れ環境整備の検討 ■ぐるっと高知サイクリングロードを生かしたプロモーション強化 <ul style="list-style-type: none"> ○四国4県が連携した四国一周サイクリングルートのPR強化 ○新たな情報発信サイトを活用したプロモーションの展開 ○関西圏における新たな出展機会を捉えたPR 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の特色ある自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○新たな情報発信サイトを活用したスポーツツーリズムのプロモーションの展開 ○新たな情報発信サイトの拡充に向けた地域の資源の掘り起こし・磨き上げ ■自然環境を生かしたスポーツ大会への効果的な支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○補助制度の見直し等による新たな大会開催の促進
----------------	---	---

施策の方向性	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツツーリズムによる交流人口の拡大 ●その他
事業概要	県内プロスポーツ等への支援 県スポーツ協会や、競技団体等と連携し、地元プロスポーツチームや、プロリーグへの参入を目指すスポーツチームが、県民にさらに親しまれるよう支援する。		

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●県内で開催される公式戦の観戦者を増やすことにより、「みる」「ささえる」といった多様なスタイルでスポーツに参加する人口が増加し、交流人口の拡大などによる、地域経済の活性化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外入込客数14万人 ●昨年よりホーム戦入場者数が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ●県外入込客数13万人 ●昨年よりホーム戦入場者数が増加している

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●県外からのスポーツによる入込客数：10,685人（R3.暦年） ●ホーム戦入場者数 <ul style="list-style-type: none"> ・高知FD 1試合平均242人、合計8,233人 ※四国 I L ホーム戦34試合 ・高知ユナイテッド S C 1試合平均454人、合計7,268人 ※JFLホーム戦16試合 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の影響で、公式戦が無観客及び人数制限があることから、入場者減少への対策が必要 ●県内外の観戦者の増加に向け、球団及びクラブとの官民連携の強化を図り、新たな取り組み（イベント等）の構築が必要

令和3年度の取り組み状況



見直しの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ホーム公式戦における県内外観戦者のさらなる誘致 ■ファン獲得のための取組の実施
---------	---

3本の柱に横断的に関わる施策の方向性

施策の方向性	(1) オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興	主要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●事前合宿受入（2021年）に向けた協定書締結国との協議、受入体制の構築や機運づくり ●レガシー構築に向けたホストタウン登録国との交流事業の充実
--------	----------------------------------	---------	---

事業概要	オリンピック・パラリンピック事前合宿事業、ホストタウン事業及び聖火リレープロジェクト推進事業 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、参加国の事前合宿等の招致を通じた機運の醸成を図るとともに、将来を担う子ども達が夢や希望を抱いてスポーツに取り組み、県民の誰もがスポーツに親しめる環境づくりや、地域の活性化につながる取り組みを行う。
------	--

令和4年度末の目指す姿	令和4年度の到達目標	令和3年度の到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ●オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、ホストタウン国とのスポーツ交流などが、県や市町村、関係団体等の事業として継続している ●聖火リレーが開催されたことで醸成されたスポーツ機運が継続している 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホストタウンの交流が、大会後のレガシーとして継続している ※令和3年度の到達目標に追加 南国市（シンガポール） 	<ul style="list-style-type: none"> ●チェコ、シンガポールの事前合宿の実施 ●大会後のレガシー構築のために、相手国関係者と継続的に協議

現状	課題
<ul style="list-style-type: none"> ●事前合宿：2カ国、5競技、58名の選手団の受入れ <ul style="list-style-type: none"> ○チェコ共和国 7月11日～30日／4競技45名（陸上14名、水泳14名、カヌー13名、ボート4名） ○シンガポール共和国 7月11日～20日／1競技13名（バドミントン13名） ●聖火リレー <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック聖火リレー：4月19日・20日／19市町村21箇所 ・パラリンピック聖火イベント：8月16日 	<ul style="list-style-type: none"> ●事前合宿の受入れ及び聖火リレーの実施に関する新型コロナウイルス感染症対策の徹底 ●レガシー構築に向けたホストタウン登録国との交流事業の実施

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況																					
<p>(1) 事前合宿に向けた受入体制の構築や機運づくり 【受入国（競技種目）】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>チェコ（陸上・水泳・カヌー） シンガポール（バドミントン・水泳）</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> ①チェコとシンガポールとの継続的な協議 <ul style="list-style-type: none"> ・合宿受入れに向けた継続的な協議（メール、オンライン） ②市町村や競技団体等との連携による受入体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック事前合宿受入連絡協議会の定期的な開催 ③コロナ禍における事前合宿受入れに向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策等を定めた「受入れマニュアル」の作成と受入体制の構築 ④練習相手の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークアドバイザーや競技団体を通じた国内実業団への協力依頼 ⑤ホストタウン交流事業「高知にオリンピック選手がやってくる」実施に向けた関係者との協議 <ul style="list-style-type: none"> ・関係大使館や観光局との協議 	<p>(1) 事前合宿に向けた受入体制の構築や機運づくり 【受入実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>国名</th> <th>種目</th> <th>期間（2021年）</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">チェコ</td> <td>陸上</td> <td>7月21～30日</td> <td>春野（陸上競技場ほか）</td> </tr> <tr> <td>水泳</td> <td>7月12～25日</td> <td>くろしおアリーナ</td> </tr> <tr> <td>カヌー</td> <td>7月11～30日</td> <td>須崎市浦ノ内カヌー場</td> </tr> <tr> <td>ボート</td> <td>7月12～17日</td> <td>須崎市浦ノ内カヌー場</td> </tr> <tr> <td>シンガポール</td> <td>バドミントン</td> <td>7月11～20日</td> <td>南国市立スポーツセンター</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> ①チェコとシンガポールとの継続的な協議 <ul style="list-style-type: none"> ・合宿受入れに向けたオンライン協議（チェコ5月7、26、28日、シンガポール5月14日） ・メール等による協議、調整（随時） ②市町村や競技団体等との連携による受入体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック事前合宿受入連絡協議会（第5回 5/12、第6回 6/25） ③コロナ禍における事前合宿受入れに向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウン自治体等オンライン会議への参加（5/6,21,31、6/8,11、7/11） ・国「マニュアル作成の手引き（改訂）」による「受入れマニュアル」作成 ・保健所等との協議（6/11,14,15,18、7/7,8） ・協力医療機関等との協議（5/25、6/1,3,9,14） ・宿泊施設（5/9,14、6/30） ・空港関係者（5/17,24,27、6/4,8,9,23、7/1） ④練習相手の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・国内実業団（ユニシス）との打ち合わせ（4月～） ⑤ホストタウン交流事業「高知にオリンピック選手がやってくる」実施に向けた関係者との協議 <ul style="list-style-type: none"> ・関係大使館や観光局との協議（4月～） ・チェコ及びシンガポールPR展示（6/10～16） ・異文化教室「チェコを学ぶ会」に向けた高知南高校との協議（4月～） ※異文化教室は中止 ・「ホストタウンフレーム切手」贈呈式（6/10） ・駐日チェコ共和国大使の知事表敬訪問（7/8） ⑥合宿期間中の報道対応 <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関による取材（7/12,13,22,28） ・オンラインによるインタビュー（7/16,18,22） 	国名	種目	期間（2021年）	会場	チェコ	陸上	7月21～30日	春野（陸上競技場ほか）	水泳	7月12～25日	くろしおアリーナ	カヌー	7月11～30日	須崎市浦ノ内カヌー場	ボート	7月12～17日	須崎市浦ノ内カヌー場	シンガポール	バドミントン	7月11～20日	南国市立スポーツセンター
国名	種目	期間（2021年）	会場																			
チェコ	陸上	7月21～30日	春野（陸上競技場ほか）																			
	水泳	7月12～25日	くろしおアリーナ																			
	カヌー	7月11～30日	須崎市浦ノ内カヌー場																			
	ボート	7月12～17日	須崎市浦ノ内カヌー場																			
シンガポール	バドミントン	7月11～20日	南国市立スポーツセンター																			

令和3年度の取り組み状況

P 当初計画（今後の取り組み予定）	D 取り組み状況
<p>（２）レガシー構築に向けたホストタウン登録国との交流事業の充実</p> <p>①ホストタウン登録（8カ国） ・オランダ、シンガポール、オーストラリア、チェコ、トンガ、ハンガリー、キルギス、トリニダード・トバゴ</p> <p>②ホストタウン交流事業 ・コロナ感染症の影響により交流事業の実施が難しいため、アフターコロナを見据えたレガシー構築のために、相手国関係者と継続に協議する</p> <p>（３）聖火リレーの取組</p> <p>①オリンピック聖火リレー ・実施日：4月19、20日 ・実施場所：県内19市町村21箇所 ・聖火リレー実行委員会の開催</p> <p>②パラリンピック聖火リレー ・実施日：8月16日 ・実施場所：オーテピア パラリンピック聖火リレー（東京）への参加 ・実施日：8月21日 ・実施場所：東京都</p> <p>③報告書、記録誌の作成 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る事前合宿及びホストタウンの取組（報告書）の編集（3月発刊予定）</p>	<p>⑦ホストタウン功労賞（国）の受賞（9/28） ・ホストタウン功労賞への推薦により、本県から6団体3個人が受賞 ・ホストタウン功労者「感謝状伝達式」（12/6）</p> <p>（２）レガシー構築に向けたホストタウン登録国との交流事業の充実</p> <p>・チェコ及びシンガポール事前合宿に向けたサインボードの作成（高知南高校ほか5小中学校）</p> <p>②ホストタウン交流事業 ・アフターコロナを見据えたレガシー構築のために、チェコカヌー協会と高知県カヌー協会が交流を継続するための協定書締結（6/28）</p> <p>（３）聖火リレーの取組</p> <p>①オリンピック聖火リレー ・市町村説明会への参加（4/5～7） ・実施日：4月19、20日 ・実施場所：県内19市町村21箇所 ・ランナー数：175名</p> <p>②パラリンピック聖火リレー ・出立式実施予定施設(イオン高知)との協議（5/14、6/30、7/21） ・出立式実施施設変更によるオーテピアとの協議（8/14）</p> <p>○出立式 ・実施日：8月16日 ・実施場所：オーテピア</p> <p>○パラリンピック聖火リレー（東京）への参加 ・実施日：8月21日 ・実施場所：東京都（葛西臨海公園）</p> <p>③報告書、記録誌の作成 ・東京2020オリンピック聖火リレー記録誌の発刊</p>
<p>A 見えてきた課題に対する改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市町村や競技団体が交流を継続し、さらに多様な交流につなげるための支援を検討する ●大会終了後のレガシー構築に向けて、関係国及び関係市町村や競技団体等と、交流の継続に向けた取組などについての協議を実施する 	<p>C 見えてきた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前合宿やホストタウン事業において実施した交流などの取組の成果を今後のスポーツ振興につなげることが必要 ●各交流を継続・発展させるためには、財源の確保やサポートする人材の確保など、各交流の主体を中心とした関係機関・団体の連携が必要
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">見直しの方向性</p>	<p>■スポーツを通じた交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ合宿の受け入れや相互交流 ○海外コーチによる指導者講習会 ○スポーツ医科学面の連携・協力 ○地域スポーツクラブとの交流 ○スポーツ大会・イベント等の連携 ○スポーツ以外の分野における交流 ○大規模イベント等を捉えた本県のPR <p>■障害者スポーツ（パラスポーツ）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者スポーツの大会・合宿の誘致 ○スポーツ機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに出会う機会の提供 ○競技スポーツ選手の育成・支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・パラアスリートの発掘を見据えた体験会の開催 ・指導者の育成や医科学的支援 ○障害者スポーツの理解啓発の充実 <p>■オリンピック・パラリンピアンによる体験や学びの機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの魅力や価値を伝える機会の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックやパラリンピアンによるスポーツ教室や体験会の実施 ・パラリンピアンによる学校や施設における障害者スポーツ体験やスポーツに関する学びの機会の提供 <p>■新たなスポーツへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京オリンピックから加わり、注目された新競技やパラリンピック競技について、県内の競技人口等を把握したうえで今後の対応を検討